

仕 様 に 関 す る 質 問 回 答 書

件 名	広告器具撤去工事	
質 問 事 項		回 答
<p>1：看板撤去後の補修方法</p> <p>2：各撤去看板の蛍光灯の本数</p> <p>3：駅毎の昼間作業と夜間作業の区分。</p> <p>4：事前に看板撤去対象駅の看板調査は可能ですか。</p>	<p>1. 器具を取付けている壁・床から突出しているスタッドボルト類は完全撤去もしくは表面に突出しないよう処理を行うようにしてください。その際、壁・床等に穴が開いている場合は目くら処理を行ってください。</p> <p>配線類は、各広告器にNFBの設置があるので、2次側にて配線を撤去すること。その他の余った配線類は、アウトレットボックス等にて集約し格納してください。また、アウトレットボックスは動かないように固定してください。</p> <p>2. 撤去盤面全体で約320～350本程度。ただし、場所により蛍光灯が入っていない盤面もあると思われるので、実際の本数については下見等で把握するようにしてください。</p> <p>3. 広告器が<u>線路内</u>に設置されている箇所（市役所前駅・県庁前駅）については、夜間作業として限定いたします。ホーム上の広告器やその他盤面については昼間作業可能です。</p> <p>4. 可能です。ただし、3番で回答した線路内の盤面については、下見調査も夜間作業でお願いします。</p>	